

## 大学地域連携スポーツ推進事業

|  |  |                       |                        |      |         |     |      |
|--|--|-----------------------|------------------------|------|---------|-----|------|
| <b>事業分野</b>  | 学術・文化・スポーツ                                   |                       | <b>協働の形態</b>           |      | 委託      |     |      |
| <b>実施主体</b>  | <b>行政</b>                                    | 半田市教育委員会事務局教育部スポーツ課   |                        |      |         |     |      |
|  | <b>協働相手</b>                                  | 日本福祉大学、市内総合型地域スポーツクラブ |                        |      |         |     |      |
|  | <b>(内訳)</b>                                  | 市民                    | 地域コミュ                  | 活動団体 | NPO法人等  | 事業者 | 教育機関 |
|  |  | 一人                    | 一団体                    | 3団体  | 2団体     | 一者  | 1校   |
| <b>実施期間</b>  | 令和4年度から                                      |                       | <b>過去3年間<br/>平均予算額</b> |      | 1,276千円 |     |      |
| <b>協働のゴール</b>  | 総合型地域スポーツクラブの安定的な運営の実現                       |                       |                        |      |         |     |      |
| <b>ポイント</b>  | 日本福祉大学の教員や学生の専門的な知見を活用しながら、地域スポーツ等の課題解決を目指す。 |                       |                        |      |         |     |      |
| <b>協働に至る経緯と背景</b>  |  |                       |                        |      |         |     |      |
| <p>市内5中学校区ごとに活動している各総合型地域スポーツクラブ（以下クラブ）は、地域におけるスポーツ活動の中心的役割を担っているものの、運営面での課題や指導者の確保が困難等の課題を抱えています。また、クラブ間において運営水準に格差もみられます。</p> <p>中学校の部活動改革等、今後クラブの需要は高まっていくと思われることから、持続可能な地域スポーツの振興を図るため、支援を実施します。実施にあたっては、専門的な知見を有し、スポーツ活動を行う学生も多く所属する日本福祉大学（担当はスポーツ科学部）へ事業を委託して実施しています。</p>  |  |                       |                        |      |         |     |      |
| <b>事業内容と行政・協働相手それぞれの事業への関与の仕方</b>  |  |                       |                        |      |         |     |      |
| <p>事業は「総合型地域スポーツクラブ運営サポート等研究事業委託」と「指導者派遣委託」の二本立てで実施をしています。</p> <p>前者では、クラブの健全運営を促すために、クラブのあり方をはじめ、健全なクラブ運営を行うための相談や助言を行います。また、運営等に関する講習会等を開催し、クラブ運営における学びの場等を設定します。後者では、各クラブに共通する課題である指導者不足に対して、日本福祉大学の学生等を指導者としてクラブに派遣することで、クラブの活動を後押しします。</p> <p>委託事業のため、具体的な事業の実施内容等を検討するなどの実施主体は日本福祉大学が担い、行政は適宜大学とクラブの間に入って調整役を担っています。</p> |  |                       |                        |      |         |     |      |

### 協働相手からの意見・評価

日本福祉大学：特に指導者派遣においては、意欲のある学生が現場に入って実戦経験を積めるという点で、大学側としても恩恵のある事業となり得るものだということでした。また実際に派遣された学生のアンケートを見ると、すべての設問において肯定的な意見がほとんどであり、もっと深く携わっていきたいという旨の意見も多く、学生からの評価も好評でした。

クラブ：運営サポート事業では、アンケート式の調査によって各クラブの弱みを明確化できました。指導者派遣では、少ない回数でしたが学生が指導に入ることにより、子どもたちが普段より楽しそうだったという意見が多く見られました。そういったこともあり、派遣される指導者をより長期で確保できればという要望も多く見られました。

### 受益者からの意見・評価

（受益者はスポーツクラブですが、協働相手でもありますので、前段の回答に代えさせていただきます。）

### 協働して良かった点や成果、及び今後の課題・展望

単年度で成果等を出すことを目指す事業ではなく（令和 5 年 6 月現在、令和 7 年度までの三か年実施計画において承認）、かつ令和 4 年度より開始した事業であり、初年度は試行期間的な要素も含んだ事業実施でした。

令和 4 年度の事業報告書の中では、運営サポートにおいては、クラブの運営基盤を整備するためにクラブ運営のノウハウを持つクラブマネージャーの資格取得を促すことや、会員の帰属意識を高めるために自主事業を新規に立ち上げることなどが提言されました。指導者派遣においては、クラブからの要望としてより長期での派遣を要望する声が多かったことが課題として挙げられました。

今後は、段階的に運営サポートを縮小させながら指導者派遣を拡充させていき、クラブと大学の間で指導者を派遣する・受け入れる体制を強化することで、クラブがより積極的に活動を展開できるよう支援します。また、中学校部活動の地域移行において、クラブが積極的に生徒を受け入れられるように、この体制を活かせるような事業形態を構築できるよう大学と検討していく予定です。

## 活動の様子（写真、チラシ等）



研究サポート委託の一環で実施した、中学校の部活動地域移行に関する総合型地域スポーツクラブ向け講演会の際の写真です。

中学校部活動の地域移行に関する提言の検討部会の座長を務められた友添先生をお招きして開催した講演会は非常に有意義なものでした。

クラブからは、自分たちが求められていることやおかれている現状について改めてよく理解できたなどの感想が上がりました。

## 委員会総括評価

・令和6年9月の中学校部活動の地域移行を見据え、地域スポーツクラブが抱える課題を解決するため、委託事業として大学との協働によるスキームを創設したもので、大学側では現場で指導者の経験を積むことができていること、スポーツクラブ側では指導者不足を補えていることで、協働事業に関わる双方に良い効果が表れている点で評価できる事業です。

## 助言・提言

### ①中期的な視点に立った地域指導者の育成、確保

・協働事業の少し先を見据えたときに、指導者不足の問題を解決するための中期的な取組として、地域で指導者となり得る人材（例えば実業団経験者など）を発掘し養成する仕組みづくりを検討してみてもはいかがでしょうか。